

神奈川県西部推進協だより

創刊号

平成 26 年 3 月 31 日

神奈川県西部職業能力開発推進協議会

秦野市桜町 2-1-3

TEL 0463-80-3001

会長あいさつ

「創刊号に寄せて」

神奈川県西部職業能力開発推進協議会

会長 米山 君夫

会員の皆様には、日頃より西部職業能力開発推進協議会各事業に際してご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また本年もよろしくご支援の程お願いいたします。

さて、県の高等職業技術校再編整備計画により、旧平塚・藤沢・小田原・秦野の4校の高等職業技術校が再編され、平成25年4月に「西部総合職業技術校（かなテクカレッジ西部）」が秦野の旧県立大秦野高校跡地に開校いたしました。

これに伴い、「神奈川県西部職業能力開発推進協議会」は、設立趣旨にご賛同いただいた上記4地区の推進協議会をはじめ、近隣地域の団体・企業のご支援と県当局のご協力を得て平成25年4月5日に発足いたしました。この日に秦野商工会議所において行われた設立総会は、事前入会会員77名のご出席並びに黒川神奈川県副知事、古谷秦野市長をはじめ、地元選出の県議会議員、公共職業安定所長、各職業能力開発推進協議会会長、県幹部職員など21名の来賓のご臨席を賜り、盛大に開催することができました。

この推進協議会の目的は、西部総合職業技術校と連携・協力し、進化するビジネスの多様化、技術革新、加工技術の高度化、グローバル化する産業など、様々な企業活動に適応する人材ニーズに対応した人材育成を行っていくところにあります。また、在職者のための生涯職業教育、職業能力の向上、会員企業相互の情報交換、地域産業の特性に応じて西部総合職業技術校が実施する各行事への協力など、西部総合職業技術校と深く連携し、同校の円滑な運営に向けて支援・協力をしてまいります。

今日の地域経済の現状は、製造業など依然として企業の世界市場を求めた海外生産の加速、また、商業では、大資本による郊外型大型店舗への顧客流出と集中による既存商業地域の過疎化傾向、更に少子高齢化社会に向かい国内市場の縮小など将来厳しい環境が想像されます。この現状の中で今後企業を継続的に発展させていく為の重要な課題の一つが、優秀な人材の確保並びに教育であります。

そのような中、この度、西部総合職業技術校が開校し、工業技術分野8コース、建築技術分野5コース、社会サービス分野2コースの計15コース、訓練生延べ定員510名の大規模な職業教育訓練が実施されますことは、地域の工業、建築、社会サービス各分野の団体・企業にとりましても、地域経済の活性化に向けて大きな期待を寄せています。

当推進協議会といたしましても、今後さらに継続的な会員増強を図ってまいります。会員各位におかれましては、西部総合職業技術校並びに当推進協議会が実施する各行事・各事業に際しまして積極的に参加されますようご支援ご協力をお願いいたします。

結びに会員団体・企業の益々のご発展と皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、西部推進協議会会報創刊にあたり私の挨拶といたします。



知事あいさつ

「創刊をお祝いして」

神奈川県知事 黒岩 祐治



神奈川西部職業能力開発推進協議会の設立1周年及び「神奈川西部推進協会報」の創刊を心からお祝い申し上げます。

皆様の協議会は、西部総合職業技術校（愛称：かなテクカレッジ西部）の開校に合わせて昨年4月に設立されて以来、企業内の職業能力開発の普及・振興に取り組まれるとともに、実習受入れ等同校の訓練にも御協力いただくなど、地域や企業の実情に応じた産業人材の育成に向け、活発に事業を展開していただいています。

米山会長をはじめ、推進協議会設立に御尽力いただいた平塚、藤沢、小田原、秦野の各旧推進協議会の役員の方々に心から敬意を表しますとともに、会員の皆様の御支援と御協力に深く感謝申し上げます。

さて、県では、県民一人ひとりのいのちを輝かせるとともに、人やものを引きつける魅力を持った「いのち輝くマグネット神奈川」を実現するため、県の総合計画である「かながわグランドデザイン」に基づき、「競争力の高い産業の創出・育成」や「産業人材の育成と就業支援の充実」など、「神奈川のポテンシャルを生かした活力創出」に取り組んでいます。

特に、さがみ縦貫道路沿線地域等を対象に、生活支援ロボットの実用化を図る地域活性化総合特区「さがみロボット産業特区」を推進し、県民生活の安全・安心の確保及び地域経済の活性化を図るため、関連産業の集積などを進めています。

こうした取組みを成功に導くには、神奈川の優れた産業や技術を担う人材を確保・育成していくことが不可欠です。

今後とも、日ごろから生涯職業能力開発の推進に取り組まれている会員企業等の皆様とともに、産業人材の育成に取り組んでまいりたいと考えていますので、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、神奈川西部職業能力開発推進協議会のさらなる御発展と、会員の皆様のますますの御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

参与あいさつ

神奈川県西部職業能力開発推進協議会

参与 秦 昌樹

(神奈川県立西部総合職業技術校 校長)



神奈川県西部職業能力開発推進協議会の発足並びに「神奈川県西部推進協会報」の創刊を、心からお祝い申し上げます。

昨年4月に開校しました西部総合職業技術校（かなテクカレッジ西部）も、米山会長をはじめ、神奈川県西部職業能力開発推進協議会の皆様の多大なるご支援とご協力を得て、初年度の事業を滞りなく進めてまいりました。改めまして、心から感謝いたします。

さて、去年は、富士山が世界遺産登録され、また、2020年夏のオリンピック・パラリンピックの東京開催が決定するなど、明るい話題が多くあり、これに呼応するように、日本経済も緩やかな回復の兆しを見せつつあると言われております。

今年は、経済再生を確実にするための正念場になりそうで、その成否を握っているのは、地域の産業であり、特に、経済の基盤を支える中小企業の元気回復が期待されております。

そうした中、西部総合職業技術校は、2年目を迎えようとしており、2014年は、真価を問われる1年として、すべての事業の充実と、業績の向上を目指していく所存です。また、会員の皆様におかれましても、現在の回復基調にある成長を確実なものにすべく、目標を掲げておられるのではないのでしょうか。

それらを達成するためには、急速な技術革新や、変化を続ける産業動向に対し、的確に対応して、企業と技術校の双方で、優れた従業員、技術校生を育成していく必要があります、推進協議会の皆様と当校の連携をさらに強化していくことが不可欠です。

当校におきましては、引き続き皆様のご支援、ご協力をいただき、訓練の充実を図り、皆様に対しましては、在職者訓練等の当校の機能を余すことなくご提供し、ご活用いただく、例えるならば、推進協議会と当校が車の両輪となって邁進していくことが、県西部地域の発展に大きく貢献するものと確信しております。

「企業は人なり」と申しますが、地域の産業振興と本格的な経済再生に向けて、優秀な人材の育成と確保は、会員の皆様をはじめ、あらゆる企業の生命線です。当校も、職員が一丸となり、工業技術、建築技術、社会サービスの3分野、全15コースの訓練を常に改善し、充実強化することで、産業人材の育成に向け、力を尽くしてまいります。

最後に、神奈川県西部職業能力開発推進協議会のさらなる発展と会員の皆様のますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

事業報告

■設立総会の報告



平成25年4月5日（金）16時から秦野商工会議所にて、事前入会会員77名と多数のご来賓の皆様をお迎えし、神奈川県西部職業能力開発推進協議会設立総会が開催されました。

設立総会当日は、発起人による設立経緯の説明、発起人代表あいさつに引き続いて、（第1号議案）「会則」及び（第2号議案）「理事の選任」について議決し、理事の中から会長、副会長、会計監査が選任され

ました。続いて、（第3号議案）事業計画（案）、（第4号議案）事業予算（案）について議決され、ここに神奈川県西部職業能力開発推進協議会が発足しました。発足後、会長あいさつ、役員紹介、来賓紹介、来賓を代表して黒川県副知事、古谷秦野市長からご祝辞をいただきました。設立総会終了後、17時15分から祝賀会を行い、なごやかに協議会の発足をお祝いしました。

■第1回研修会(県立西部総合職業技術校の施設見学会)

記念すべき、本推進協議会の初めての事業として、第1回研修会が、平成25年7月26日（金）15時から、会員51名の参加で、西部総合職業技術校で実施されました。研修会の当日は、秦昌樹校長のあいさつの後、各分野5グループ（工業技術、自動車整備、情報、建築、社会サービス）に分かれて、広々とした新しい施設や設備はもちろんですが、訓練を受講している技術校生の様子についても、じっくりと見学して、生の西部総合職業技術校を体感しました。

施設内を見学した後は、各分野5グループに分かれて、西部総合職業技術校の担当指導員と意見交換の場があり、見学会での感想をはじめ、西部総合職業技術校への要望、人材育成に関する意見、企業現場の状況など、会員と担当指導員相互での意見交換ができました。

■第2回研修会(神奈川県科学技術アカデミー・日産自動車座間事業所の見学会)

平成25年11月6日(水)9時から17時まで、第2回研修会(施設見学会)を実施しました。見学先は、公益財団法人神奈川県科学技術アカデミー(KAST)と日産自動車株式会社座間事業所です。参加人数は、20名でした。まず、公益財団法人神奈川県科学技術アカデミーの見学は、企業の研究者・技術者及びその管理者を対象とした産学公連携の中核的拠点ですが、イノベーションセンター研究室での光触媒の解説や、ナノレベルの観察・分析など、先端的かつ高度な科学技術分野での創造力豊かな人材育成の現場を見ることができました。次の日産自動車株式会社座間事業所の見学では、記念車庫において、実際に展示されている日産自動車の歴代の数々の名車を目の当たりにして、多くの参加者の皆さんが感心されていました。

また、日産自動車株式会社座間事業所の訓練センターでは、技能五輪を目前に控えた技能五輪選手達の練習を間近で見ただけではなく、技能五輪選手の皆さんへお話ができる場をいただき、技能五輪を目指す、若い方々の熱い想いを知ることができました。朝から夕方まで、タイトなスケジュールでしたが、貴重な施設見学会となりました。



■合同就職説明会の開催

西部総合職業技術校生の就職促進を図るとともに、推進協議会会員企業において有望な人材確保の機会を設け、当校の就職状況を向上させることを目的とした合同就職説明会が、平成25年8月7日(9月修了生対象)、12月4日(平成26年3月修了生対象:庭園エクステリア施工コース除く)、平成26年2月5・6日(ケアワーカー、介護調理、庭園エクステリア施工コース対象)西部総合職業技術校にて開催されました。

12月4日の説明会は、秦野商工会議所との共催で、秦野市、県立産業技術短期大学校人材育成支援センターにも協力をいただき「かなテクカレッジ西部合同就職説明会」として、一般求職者、大学・短大生、高校生、専門・各種学校生など、当校の修了予定者の他にも、多くの求職者の方が参加し、自分をPRするために作成した自己紹介票を提出して熱心に会社の説明を受けていました。

参加していただいた企業担当者の方々から、当校の産業人材育成に高い評価をいただき、技術校修了生がグローバルに活躍しており、修了生が生き生きと働いている様子を紹介したり、就職活動のアドバイスを送る企業もあり、企業と求職者の繋がりを感じました。参加した求職者にも大変好評で「チャレンジしたい企業が見つかった」「新たに興味をもった業界・仕事と出会えた」「実際の仕事のイメージが掴めた」という声も聴かれ、当推進協議会および西部総合職業技術校にとっても地域雇用の活性化を図るとともに、今後の各種事業への協力や当校における就職支援強化の足掛かりとなりました。



■第3回研修会（講演会）

テーマ「勝つための組織と人材づくり」

～ここ一番に強い組織と人材をつくるには～

講師 松下 信武 氏

平成26年1月15日（水）16時30分から西部総合職業技術校の多目的教室において、ゾム代表 松下信武氏を講師にお迎えし、会員企業の人材育成に役立てることを目的に、工業系、建築系、社会サービス系に共通する分野で講演会（研修会）を実施しました。



今回、特に印象に残った内容は、セルフ・エフィカシー（自己効力感）をキーワードに、大リーグのイチロー選手がWBCの試合に参加した時のVTRとインタビューを用いてイチロー選手を具体的に行動分析されたことです。

そのVTRをスクリーン画像でわかりやすく解説し、講演参加者を魅了する話の展開にセルフ・エフィカシーがよく理解された内容でした。講演終了後、松下講師の豊富な人材育成等について参加者から熱心な質問が出ました。

※セルフ・エフィカシー（自己効力感）とは、与えられた条件のもとで、望んでいる結果をあげる能力があると信じているこころの状態のこと。カナダ生まれの社会心理学者アルバート・バンデューラーによって提唱された。

役員等紹介

現在、会員は平成26年3月末で216社です。分野別で見ますと工業系100社、建築系54社、社会サービス系37社、団体15団体、その他13社（3社は複数の分野に該当）となっています。役員は次のとおりです。

神奈川県西部職業能力開発推進協議会 役員一覧

役職名	氏名	事業所・団体名、役職等
会長	米山君夫	株式会社米山電子工業 代表取締役会長
副会長	丹野猛	株式会社丹野設備工業所 代表取締役
副会長	諸星道男	株式会社アカギ 取締役
副会長	山田克己	株式会社小田原ジムキ 取締役会長
会計監査	島津俊美	相模鋳金工業株式会社 代表取締役
会計監査	田城裕司	株式会社タシロ 代表取締役社長
理事	石川道隆	株式会社石川工業 代表取締役
理事	石原健次	株式会社湘南アルテック 代表取締役社長
理事	大曾根俊久	平塚商工会議所専務理事
理事	栗原政男	秦野商工会議所専務理事
理事	小山俊一	株式会社やまなか園建設 代表取締役会長
理事	橘川一比鼓	株式会社ケイテック 代表取締役
理事	鈴木洋子	社会福祉法人西湘福祉会 理事長
理事	林隆英	東名自動車工業株式会社 代表取締役

西部総合職業技術校の紹介

■コース紹介

かなテクカレッジ西部では、工業技術分野8コース・建築技術分野5コース・社会サービス分野2コースの計15コースを設けて職業訓練を行っています。

今回は、このうち工業技術分野の機械関係コースを紹介します。

マシニング&CAD/CAMコース

訓練期間 1年

定員20名 (4月入校)

旋盤・フライス盤などの工作機械から、マシニングセンタの操作まで身に付けるとともに、機械の材料、製図、測定に関する知識を基礎から学びます。最終的には、図面を読んで、製作工程を考えながら加工できることを目標にしています。

機械CADシステムコース

訓練期間 1年

定員20名 (4月入校)

機械製図の基礎から学び、2次元及び3次元CADをツールとして機械製図が確実に読めて、作図ができる技術を学びます。さらに、3次元モデリング実習や設計に必要なデザイン、試作などを学び、機械設計の技術を身に付けます。

溶接・板金コース

訓練期間 6ヶ月

定員各10名 (4月/10月入校)

ガス溶接やアーク溶接の基礎から、アルミやステンレスなどの特殊金属の溶接技術を習得します。また、板金加工やレーザ加工技術、板金CAD/CAMなどにも力をいれており、製造現場で必要な精密加工技術も身に付けます。

■在職者訓練の紹介

企業の従業員等の技術・技能の向上などを目的に在職者訓練（スキルアップセミナー）を西部校にて実施しています。

今の仕事をより充実させるため、新しい分野の仕事に取り組むため、また高度熟練技能者の技を習得するために活用できます。セミナーの種類は、「メニュー型スキルアップセミナー」と「オーダー型スキルアップセミナー」の2種類です。

○メニュー型スキルアップセミナー

年度当初に講座内容を広報し、広く受講者を応募して実施します。平日に仕事がある方にも利用しやすいように、土曜・休日・夜間も実施しています。

セミナーの内容としては、工業技術分野、建築技術分野、社会サービス分野のセミナーを実施しています。

○オーダー型スキルアップセミナー

企業からの要望に応じて講座の内容や日程を決めるオーダーメイド型の技術講習です。

セミナーの内容としては、メニュー型と同じように各分野が実施できますので、ご要望があれば、西部校へご相談ください。（電話0463-80-3004）

■平成26年度かながわものづくり継承塾のご案内

高度な熟練技能者が講師となって、中堅の技術・技能者に熟練の技術・技能を伝授するセミナーです。個々の企業や事業主の努力のみでは難しい熟練の技術・技能の習得が可能です。平成26年度の継承塾のご案内につきましては、次のとおりです。

1 開催講座

普通旋盤、機械組立仕上げ、造園（石積み・石張り）、工場板金、工場電気設備の計5講座です。

2 開催日程

①10/8～11/26の毎週水曜日 全8日間（普通旋盤、機械組立仕上げ）

②10/8～11/12の毎週水曜日、全6日間（造園（石積み・石張り）、工場板金、工場電気設備）

3 その他

受講料、受講対象者、申込み方法等の詳しい内容については、西部校へお問合せください。

(電話0463-80-3004)

推進協議会加入のお願い

設立当時150社でスタートした当推進協議会の会員数は、平成26年3月末現在で216社となっています。当推進協議会では、この会報で紹介しております研修会・見学会や就職説明会などの事業を実施していますが、さらに会員が増えることにより、会員事業所相互の情報交換・交流も充実させることができます。

入会いただける事業所がおられましたら、是非、ご紹介くださるようよろしくお願いいたします。

(入会の問い合わせ先) 推進協議会事務局 電話 0463-80-3002

編集後記

会員の皆様には、それぞれ日ごろの業務にお忙しいことと存じます。この会報が皆様に届く頃は、春爛漫であると思います。

西部校としても、昨年4月の開校に始まり、総合校の特徴を生かすために、職員間で一致団結して、より充実した職業訓練実施体制と活発な募集業務および徹底した就職支援体制を進めてまいりましたので、大変忙しい1年でした。

会員の皆様並びに関係各位のご協力により、この会報の創刊号を無事発行することとなりました。紙面をお借りして感謝申し上げます。今後とも、ご協力の程、よろしくお願いいたします。